

日本ヒーブ協議会、四十周年記念事業シンポ



▲日本ヒーブ協議会は、去る十二月十五日、丸の内M Y P L A Z Aホール（東京）で「二十一世紀の消費社会と男女共同参画をふり返る」女性視点は企業をどう変えてきたのか」をテーマに四十周年記念事業シンポジウムを開催。経済産業省消費経済企画室伊奈友子室長、(株)レナ・ジャパン・インステイテュート蟹瀬令子代表取締役が基調講演を行い、同協会の会長も務めた蟹瀬氏は後輩に向けて「女性が消費者目線で仕事をすることとこれからは経営視点も両方持つことが大事」とアドバイスした。